



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2017/9/9 Rd-5 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：31℃ 出走台数：19台

昨年4月に発生した熊本地震により、コースや建物が被災した九州唯一の国際サーキット オートポリスは、昨シーズンの大会中止を余儀なくされ、スーパーフォーミュラは2年ぶりの開催となる。

第4戦もてぎ戦に続き、2スペックのタイヤで争われることになる本大会。高低差が大きく中高速コーナーが多いオートポリスで、ソフトタイヤのパフォーマンスはどのくらい保つのか？ 注目のノックアウト予選が開始された。

ノックアウト第1予選、DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台は新品のミディアムタイヤで車両と路面コンディションを確認。好感触の中、残り5分でアタックへ。伊沢選手が7番手でアタックを終えた直後、コースアウト車両のためセッションは赤旗中断となる。アタック中だった野尻選手には厳しい展開と思われたが、セッション再開後のアタックを完璧に決め、中古タイヤながら2番手を記録。

続く第2予選、ここからはソフトコンパウンドタイヤを使用することになる。両選手は状況変化に伴うマシンバランス修正を行い、残り4分でコースイン。野尻選手は、第2セクターでスロー走行車両に引っかかりながらも2番手のタイム。伊沢選手もスロー走行車両に引っかかり大きくタイムロス。12番手で予選を終える事に。

第3予選、野尻選手は慎重にタイヤをウォームアップしアタックラップに入った。第1セクターで伸び悩んだが、第2、第3セクターを驚異的なペースで走り、コースレコードでポールポジションを決めた。

40：野尻 選手 予選 1位 (第1予選 2位 第2予選 2位 第3予選 1位) HONDA 勢 1位
今シーズン、チームのポテンシャルを感じながらも結果に結びつかないレースが続いていましたが、もてぎ予選タイムに続いて2戦連続のコースレコードホルダーとなり、ポールポジション獲得できたことは、チームの純粋な速さの証明としてとてもうれしいです。決勝に向け、チームと戦略を練ってトップチェッカーを目指します。

41：伊沢 選手 予選 12位 (第1予選 12位 第2予選 12位) HONDA 勢 4位
昨日のフリー走行から感触良く、手ごたえを持って臨んだ予選でしたが、トラフィックに引っかかってしまった事もあり力を出し切れずに終わってしまいました。
明日は、タイヤマネジメント次第で大きく順位が変わるかもしれません。自分の そしてチームの 本来の力を発揮し、しっかりと結果を残します。